

国際交流員マシアスのコラム

●ユーモア？ 皮肉？



早いもので、私が下野市に住み始めてから3年が過ぎようとしています。ですが、確実に言えることが一つあります。それは、日本が世界で最も親切で丁寧な文化を持つ国の一つだということです。電話のオペレーターをはじめ、商店や飲食店、郵便局などのスタッフはもちろん、自動販売機やATMでもさえ親切なのです。いつでもどこでも、優しい日本人の顔を見かけますし、みんな驚くほど多種多様な敬語を話しています。

しかし、ドイツや他のヨーロッパ諸国では事情が大きく異なります。スタッフの皆さんは親切にしようと努力してはいるのですが、疲れている日には無言で接客してしまうこともあります。ドイツ人は、実はお世辞を言うのも苦手です。よい言葉を見つけれず、結局何も言わないということも多いのです。

でも、日本では全く違いますよね。お世辞のシャワーをこんなにたくさん浴びるのは、日本以外ではなかなかできない体験です。著者の使用に慣れていなくても、日本語の発音が拙くても、いつも好意的にみてくれて、褒めてもらえるのです。そのおかげで、私は日本でもポジティブな気持ちで暮らせています。

ドイツでは反対に、何事もすぐ

否定的にみられてしまっていますし、皮肉がとても好まれます。日本語の「皮肉」に当たるSarkasmus / Ironie (ザークサスムス/イロニー) という二つの単語があつて微妙な差を使い分けているほどです。

コーヒーをこぼせば、近くの席から「よくできました」や「素晴らしい！」などという言葉が聞こえてきます。サッカーでもゴールから11メートルも外れたシュートを「強力な一打！」などと言ったりします。

こんな言い方には、半分は嫌みが、半分はユーモアが込められています。ヨーロッパのユーモアはほとんどが皮肉で、皮肉のためだけに作られた風刺雑誌もあります。さらに、カーニバルのような伝統行事の中には、皮肉がお祭りの一部になっているものすらあり、ブロのコメディアンが皮肉を言うために呼ばれたりもしているのです。

ドイツのことわざに、「運命の皮肉」というものがあります。これは、日本語の「運命のいたずら」という表現や、運命に「やられたな」と思うときの気持ちに似ています。

さて、私が今国際交流員として下野市で働いているのも、ひよつとして「運命の皮肉」なのでしょうか？

英会話サロン Fun Fan English開催！

英会話に興味があるけど英語で話す機会がない。もっと英語を話してみたい。と思っている方はいませんか？市国際交流協会では、そんな方が気軽に集まって英会話を楽しむサロンを開催します。

国際交流員のマシアスさんも参加します！ご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

- 日時 6月18日(日)
午後2時～3時30分
- 場所 生涯学習情報センター
- 参加費 無料

ただし参加者は、国際交流協会に入会していただきます。(年会費1,000円)

- 定員 12名
- 対象 小学生以上
- 内容

参加者の英語レベルによってグループ分けをしながら、自己紹介、ディスカッション、フリートーク等を行います。

- 申し込み・問い合わせ先
下野市国際交流協会事務局
(市民協働推進課内)
☎(32)8887

国際交流員マシアスさんによる ママパEnglishサロン開催！

市国際交流協会では、子ども連れの方でも気軽に参加いただける英会話サロンを毎月開催しています。

国際交流員のマシアスさんと一緒に、遊びながら気軽に英会話を楽しんでみませんか？もちろん、大人の方のみの参加もOKです。子ども好きの方や外国人の方も大歓迎です！

- 日時 ①7月14日(金)
午前10時～11時
②7月28日(金)
午前10時～11時
- 場所 薬師寺コミュニティセンター
- 講師 国際交流員
- 参加費 無料



サロンの様子

ただし参加者は国際交流協会に入会していただきます(年会費1,000円)。

- 定員 ①、②それぞれ10名
- 申し込み・問い合わせ先
下野市国際交流協会事務局
(市民協働推進課内)
☎(32)8887

■人口と世帯(5月1日現在)
人口/60,224人(+162)、男性/29,874人(+100)、女性/30,350人(+62)、世帯数/23,479世帯(+197)

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285(32)8886 情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ

